

# 第7章 神の国の歴史（歴史の物差し）

神の国の歴史について、教材を使って考えてみましょう。

神はご自分のみ旨の中にあるよろこびを、ご自分の似姿に創造された人間にもたらしようにご計画になりました。そのご計画を私たちは、神の聖なる歴史、神のみ国の歴史と呼んでいます。

このような神の国の歴史をみことばによって啓示された聖書からみつめていくことにしましょう。

● 年齢 初聖体準備

● 教材 ○聖書 ○ローソク2本 ○ポスター（写真②）

○布のテープ 52m×4cm

（赤巾2cm×2cm～青15m～ベージュ35m  
～白2m～黄2m（写真①））

黄色から47cmベージュのところは赤色の人間と桃色の手、赤色の人間から186cmのところは黒色の人間。黄色と赤色のテープの先はほごしておく。黄色のテープから2mを白色のテープ。

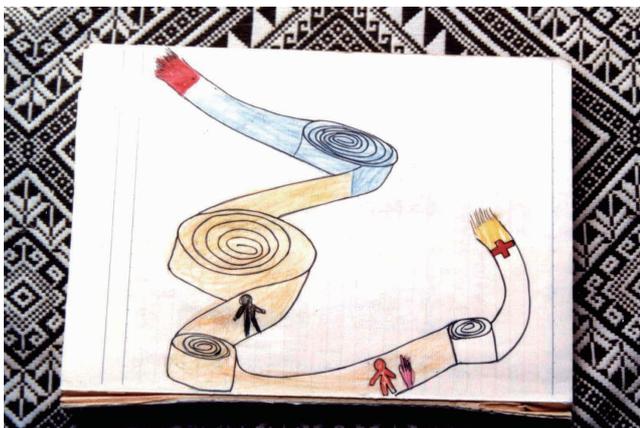
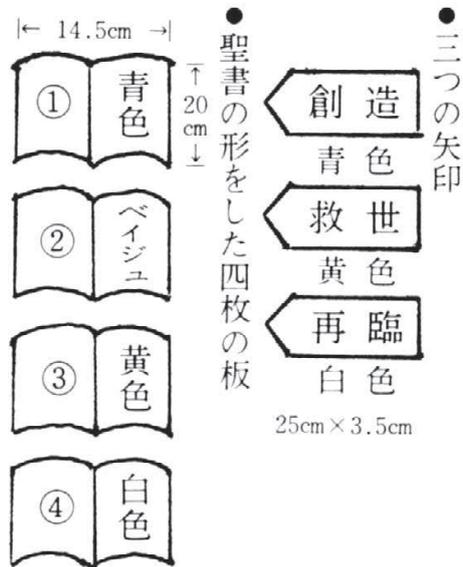
①はじめに神は天と地をつくられた。 神の霊が水の上をみたしていた。

②神はご自分にかたどって人間をつくり、神ににせてつくり、男と女につくられた。

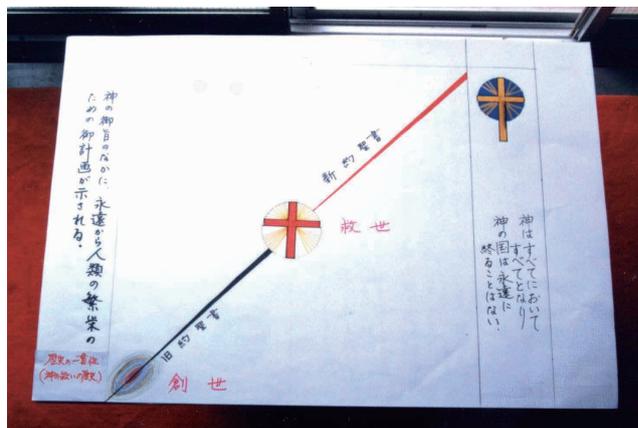
③ダビドの町で救い主キリストがお生まれになった。

どうして死者の中に生きたかたをさがすのか、彼はここにいない、復活した。

④神はその時に再臨するでしょう。すべてのことはその時完成される。



写真①



写真②

## ● 神の国の歴史 1～15

- 1、私たちが生活している地上は、何億年も昔につくられました。はじめはどろどろした要素があつてそれをカオス（混沌とした）と呼んでいます。それらの要素は地の深いところにみられます。
- 2、地ができあかつて、やがて植物や木々が繁りはじめ緑でおおわれるようになり、花が咲き、きれいな空気ができて、植物はたねができ、あるものは地上で動くようになりました。水の中に生きる動物、空を飛ぶ動物、最後に地上の動物があらわれました。
- 3、これらのもののあいだにすこしずつ区別があらわれましたが、まだ知性にとぼしい自然のままの姿でした。私たちに似た人間があらわれるまでに長い長い時間がすぎました。物を知るための能力、知性と呼ばれるものがあらわれるのは、人間が地にあるものを手でつかみ、その手で物をつくるようになってからでした。それらをつくった手は知性の発達への重要な段階となりました。
- 4、やがて人間は、「人が必要とするものを、この世界に誰が準備したのか」と質問しはじめました。人はこの質問に自分で答えることはできません。いったいどうして、地上に人間のために準備されたものを見ることができのだろうか。最初の人にはどんな知性もなかったのに誰がそのように大きな配慮と、大きい愛をもって準備することができたのでしょうか。
- 5、私たちはその答えを聖書と呼ばれる本の中にみつけることができます。その中で「神は天と地を創造され、彼はそれを満たしていました」人のためにすべてのものを準備されましたので、人にはどんな不足もありませんでした。

⇒ 6から15までは次の章へ続きます。

## ● 教材の使用

神の国の歴史の1～15を読みながら話します。

ローソクと聖書を子供に運ばす。

布テープを子供の手にとらせ一本の糸が千年の単位として示す。

赤い房を聖書の第1ページにはさんで、ローソクに点火してから沈黙してテープを伸ばしていきます。

最後まで伸ばしたら3つの矢印を要点の書かれたところに置く。

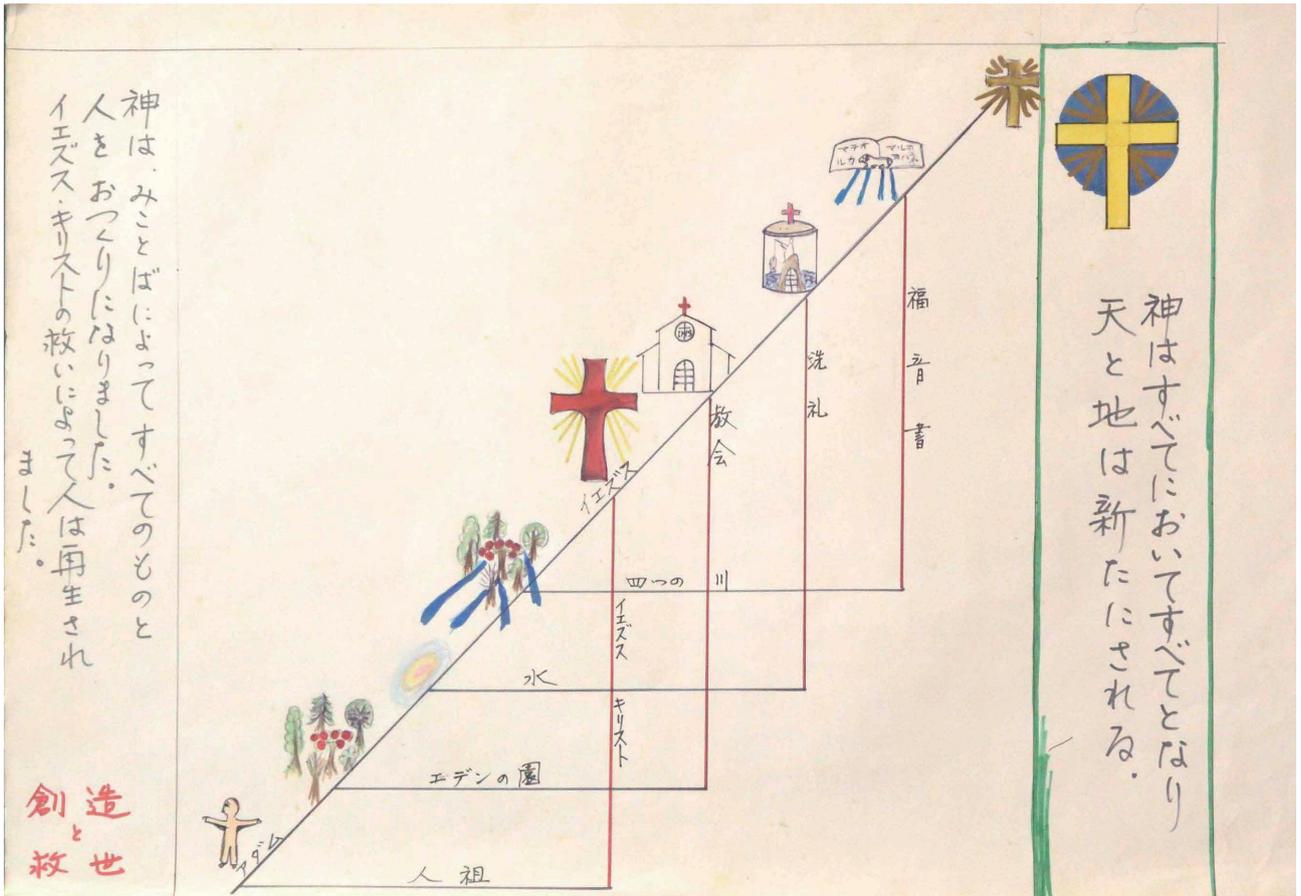
## ● 直接のねらい

神の国の歴史を総（口的に知ることと  
その歴史の一二つの要素（創造、救世、  
再臨）をしっかりと教える。

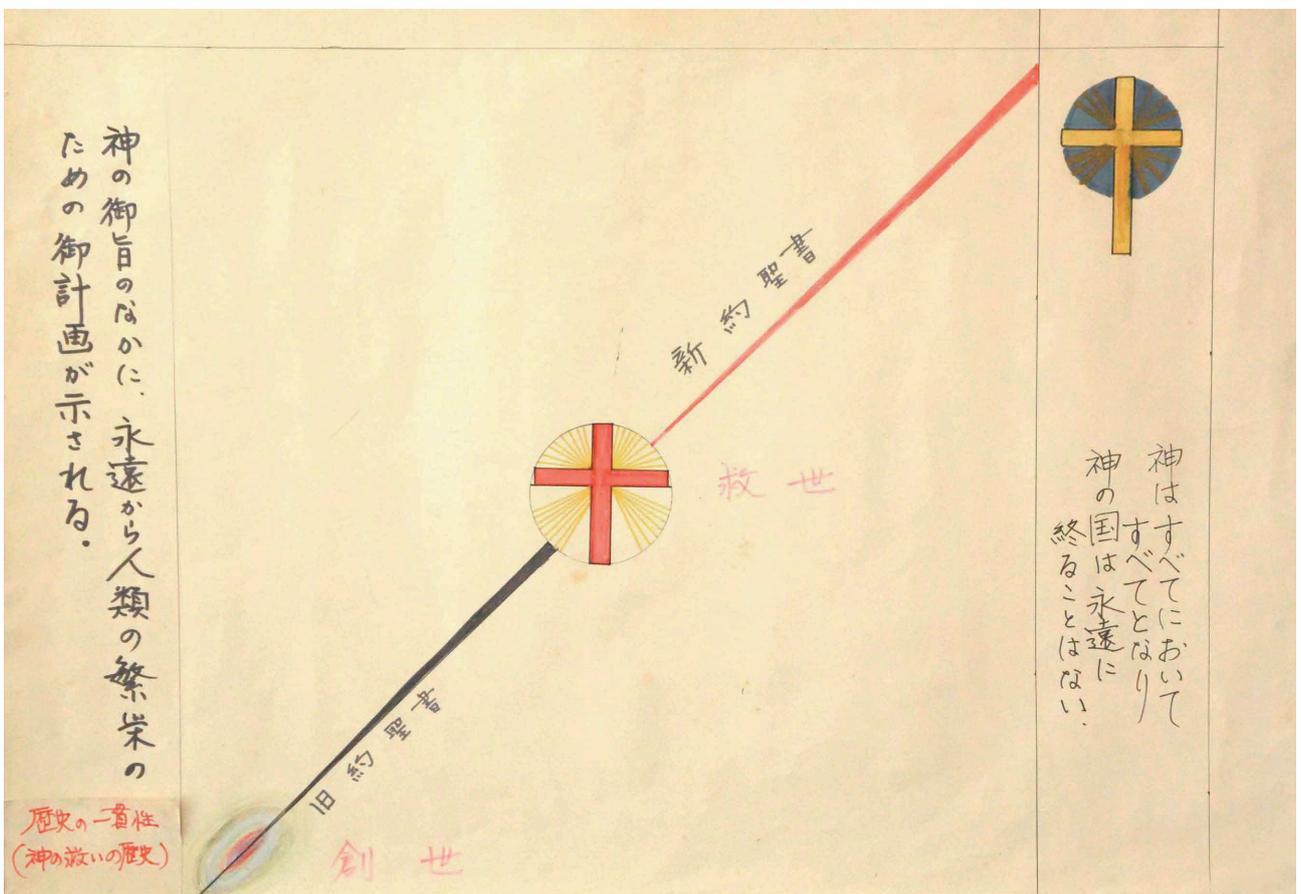
## ● 間接のねらい

神の国の歴史のつながりのすばらしさへの驚きをかりたてる。

追補教材（指導者用；7-1）： 創造と救世



追補教材（指導者用；7-2）： 歴史の一貫性（神の救いの歴史）



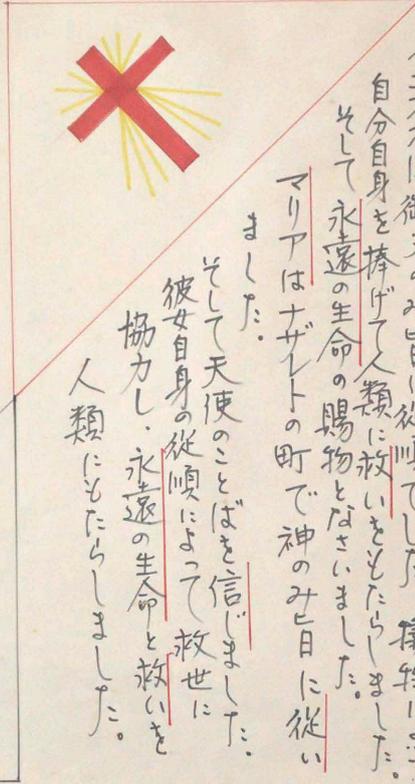
追補教材（指導者用；7-3）： 原罪と救世

原罪と救世は似ていませんが  
対比されます。

イエスは御父のみ旨に従順でした。犠牲によって  
自分自身を捧げて人類に救いをもたらしました。  
そして永遠の生命の賜物といただきました。  
マリヤはナザレトの町で神のみ旨に従い  
ました。  
そして天使のことばを信じました。  
彼女自身の従順によって救世に  
協力し、永遠の生命と救いを  
人類にもたらしました。

アダムは神への不従順の罪によって  
世界に罪と死をもたらしました。  
エワはエデンの園で神に不従順でした。  
そして誘惑におちりました。  
この不従順によって人類に  
罪と死の源となりました。

神の命令に人は従いましたが、神がもたらして  
下さった救いさうけが、けれども救いの  
約束の結果として罰があります。



**原罪**  
と  
**救世**

追補教材（指導者用；7-4）： 大洪水と救世

神は義人であるノエという人を大洪水から救い  
イエスキリストは洗礼の方法で人類を救います。

神はすべてにおいてすべてとなり、  
メシアは人類を審判するため  
来臨するでしょう。

聖霊は教会を見守り  
神の平和をもたらします。

洗礼の水により、すべての受洗者は罪とよ  
められ、新しい生命に生まれかわります。

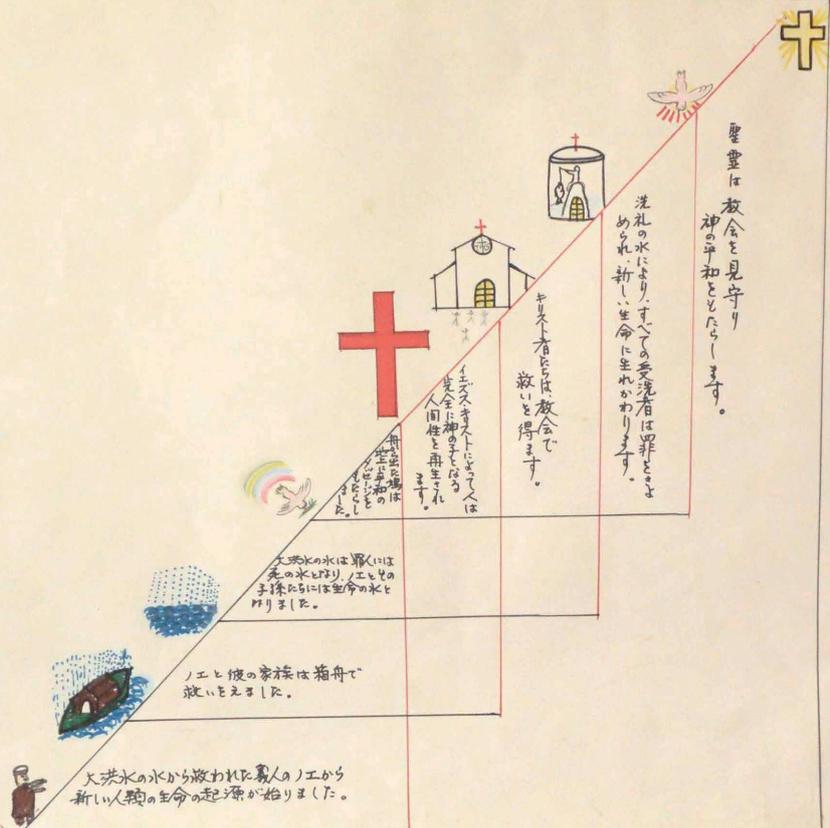
キリスト者は教会で  
救いを得ます。

主と十字架に信じて人は  
生命に神を再生され  
ます。

大洪水の水は罪人は  
死の水に降り、イエスの  
子孫には生命の水と  
降りました。

ノエと彼の家族は箱舟で  
救いを与えられた。

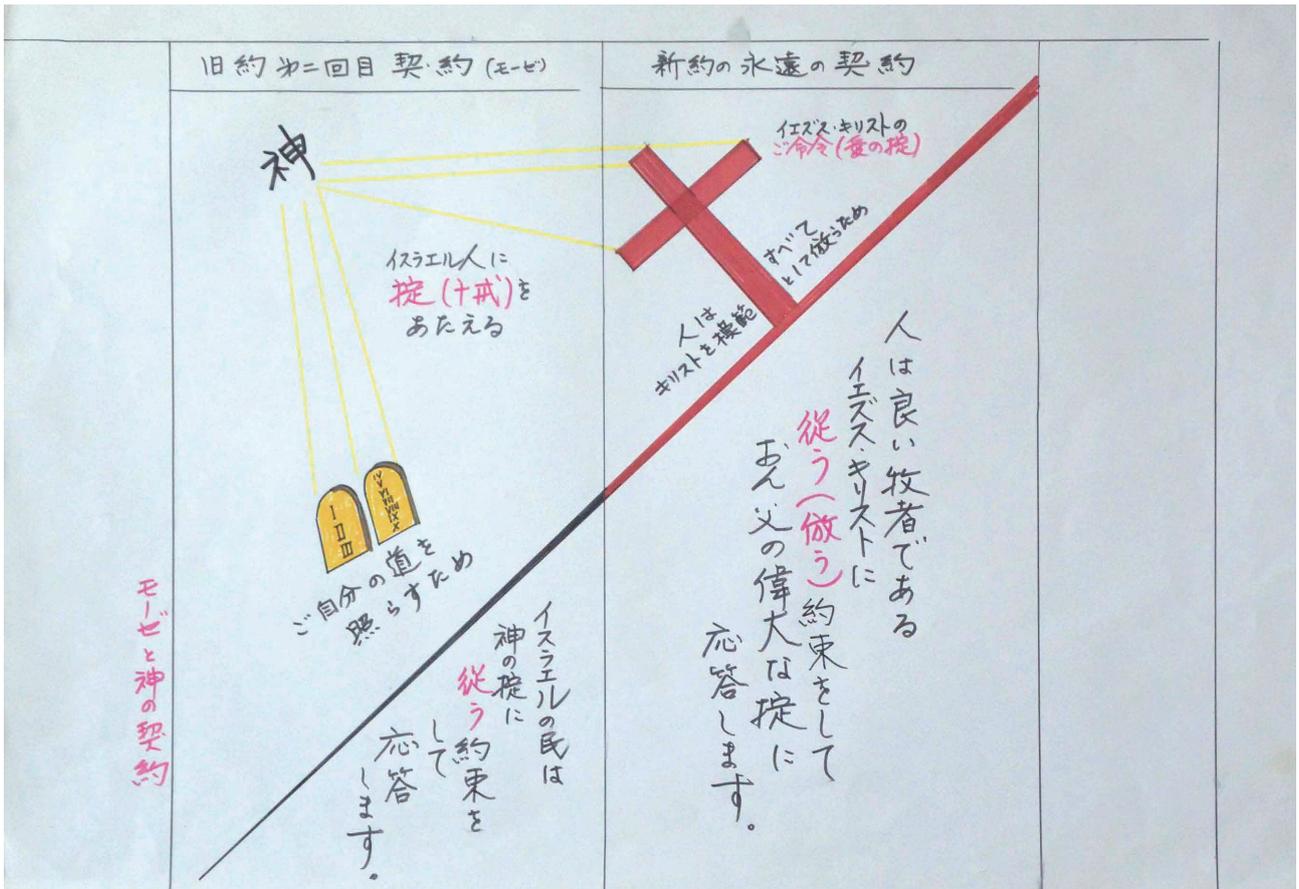
大洪水の水から救われた義人のノエから  
新しい人類の生命の起源が始まりました。



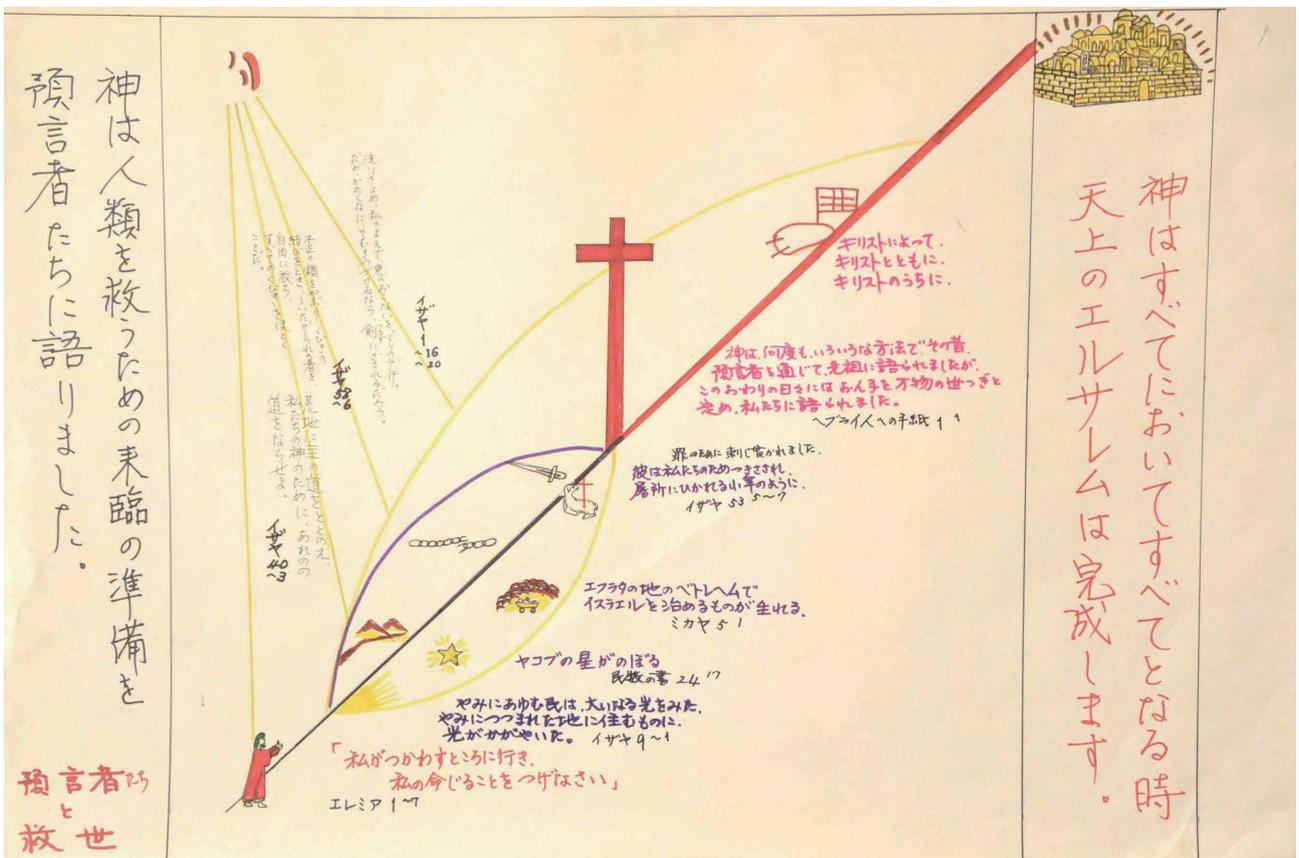
**大洪水**  
と  
**救世**



追補教材 (指導者用; 7-7): モーセと神の契約



追補教材 (指導者用; 7-8): 預言者たちと救世



追補教材（指導者用；7-9）： 完 成

救世

イエス・キリスト

聖霊降臨

人々は秘跡を通して救いを保つことができます。

神は、救いの門を示されます。

神は、人類を救いに導くために預言者たちに語られます。

神は、モーゼを通して、えらばれた民に法の賜物で告げ知らせます。

神は、えらばれた民の指導者を通して、人類に救いをもたらします。

神は、一人の義ある人ノエを洪水から救います。

人は、神の秩序をみだし、賜物を失いました。

神は、はにもないところから、みことばによってすべてのものと人を創造しました。

創世

原罪

大洪水

アラム

モーゼ

預言者

洗言へえ

救世

救世によって頂点に達する色々な出来事を通して人類を救いへと導く神の計画は明らかにされています。終り(完成)を迎えます。